

H5N1 亜型鳥インフルエンザウイルス研究者ら、インフルエンザ研究を再開 (1月23日)

2012年1月20日から自主的に研究の一時停止を行っていた H5N1 亜型鳥インフルエンザ研究者らは、研究一時停止の目的がほぼ達成されたことを理由に、H5N1 研究を再開させることを発表した。

今回の発表は、1月23日付で科学情報誌「サイエンス (Science)」及び「ネイチャー (Nature)」のウェブサイトに掲載された、40人の H5N1 研究者が連名で作成した書簡において行われたもので、当該ウイルス研究に対する予算を有し、また、当該研究を行う研究所が遵守する安全規則が確定している国の研究者については、ウイルス再生を含む実験を再開できるが、それ以外の国の研究者は、現時点では研究を再開するべきではない、との見解を明らかにしている。

なお、米国と日本は共に後者であり、本発表では、このような国家では、研究所安全ガイドラインや研究助成申請審査ガイドラインが最終的に承認されるまで研究再開に踏み切るべきでないとしている。

なお、研究者からの書簡は、

<<http://www.sciencemag.org/content/early/2013/01/22/science.1235140.full>>から閲覧可能。

ScienceInsider, H5N1 Researchers Announce End of Research Moratorium

<http://news.sciencemag.org/scienceinsider/2013/01/h5n1-researchers-announce-end-of.html>